

カンボジアの鉄道貨物輸送 タイと連結へ

カンボジアの鉄道路線の修復作業は2018年7月に完了し運行を再開していますが、年内にもタイへの連結が予定されています。在タイ日系企業の拠点となる国境の街も通過することから、渋滞緩和だけでなく、経済活性化の契機として大いに期待されています。本号では、カンボジアの鉄道貨物輸送についてお伝えいたします。

1. カンボジアの鉄道貨物輸送

カンボジアの鉄道路線は、首都プノンペンを起点に、国際港がある南部シアヌークビル州に伸びる南線と、タイ国境の北西部ポイペトに繋がる北線があります。どちらの路線も内線の影響で大きく損傷していましたが、長年の修復作業の末、南線が2016年4月、北線が2018年7月に運行を再開しました。

そして、このほど北線が延伸し、タイの首都バンコクに接続することが年内にも予定されています。なお、南線側にあるシアヌークビル国際港は、カンボジアで唯一、外洋に面したコンテナ港湾を有しており、港の後背地には、日本企業をターゲットとする経済特区が整備されています。



(出典：AFP/アフロ)

2. 今後の物流への影響

北線が経由する都市ポイペトには、在タイ日系企業が生産分業地点として集まっています。これまでは国道5号線を活用したトラック輸送が中心であり、タイに比べて輸送コストが高いデメリットがありました。しかし今後、北線が最終的にタイの首都バンコクに接続すれば、輸送コストを安価に抑え、また定時性が高まるメリットが期待されています。

一般的に、トラック輸送に比べ、鉄道輸送は時間こそかかるものの一度に大量の商品を輸送できるといわれています。よって、円滑な鉄道輸送が可能になれば、上記のような輸送の効率性や税関手続きの円滑化が期待されるだけでなく、トラック輸送との使い分けやコスト圧縮の可能性が広がります。

また、カンボジア公共事業・運輸省は、プノンペン西部に大型物流センターの建設を計画しています。この物流センターは鉄道路線に接続し、国道3、4号線やプノンペン経済特区へのアクセスが容易な立地に建設される予定です。運輸省としては本物流センターをASEANにおける物流ハブにすべく、計画を進めています。

今後、タイをまたぐ鉄道路線において部品輸送への活用等が行われることによって、タイ国境に集結しつつある日系企業のさらなる投資誘致が期待され、物流量も増加していくことが見込まれています。



(出典：NNA ASIA)

【弊社グローバルネットワーク ～代理店のご紹介～】

カンボジアでの貨物事故につきましては、下記の弊社クレーム代理店、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡いただけますようよろしくお願いいたします。

EUROGAL SURVEYS(CAMBODIA)LTD.

No.168KA, ST.598, SANGKAT TOUL SANGKE, KHAN RUSSEY KEO, PHNOM PENH, CAMBODIA

TEL: (855)23-996-566

FAX: (855)23-996-567

E-Mail: cambodia@eurogal-surveys.com



(出典)

・NNA ASIA 2018 年 11 月 30 日

<https://www.nna.jp/news/show/1842212>

・NNA ASIA 2018 年 7 月 6 日

<https://www.nna.jp/news/show/1784785>

・AFP BB NEWS 2018 年 7 月 5 日

<http://www.afpbb.com/articles/-/3181285>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html